



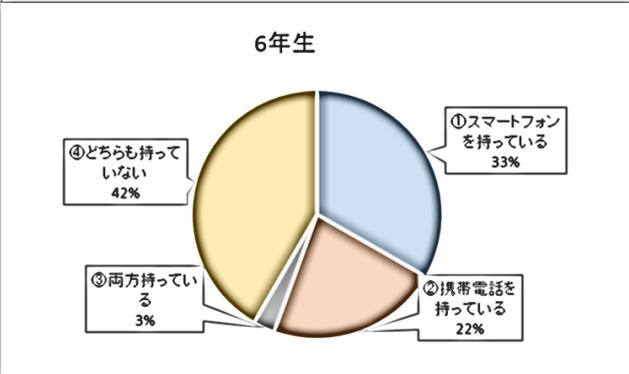
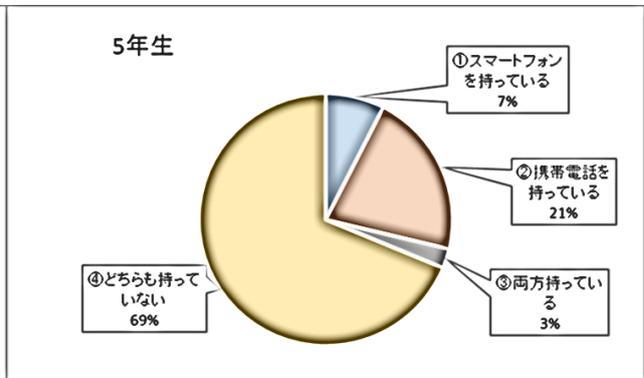
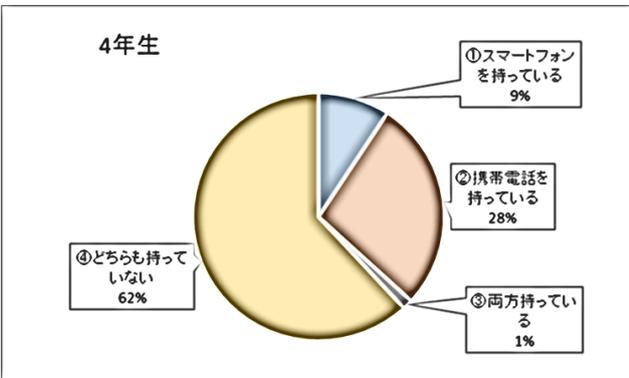
学校教育目標
 知徳体の調和のとれた品性のある子の育成
 - 感動・感謝・発見のある学校 -

知恵を出し合い 発見の喜びを感じる子 思いやりを形で表す子 きびきび動く子

晩秋の候、朝晩の冷え込みが一層きびしく感じる日々が続くようになってきましたが、子ども達は毎日元気よく登校しています。

さて、本日は「ノーゲームノーネットDAY」にちなんで、今月初めに4～6年生を対象にとった「ゲームやネットに関するアンケート」の結果をお知らせします。今回のお知らせをもとにお子様を取り巻くネット環境を見直していただき、家庭でのルールづくりや環境整備への参考にさせていただければ幸いです。

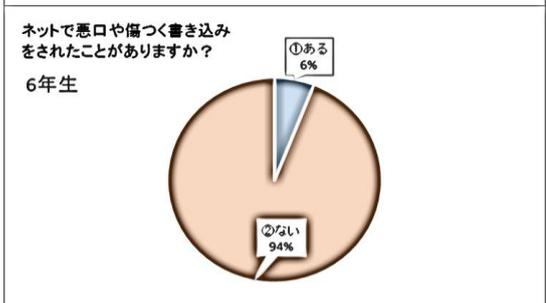
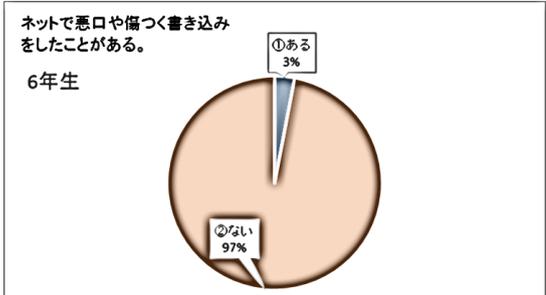
自分専用の携帯電話やスマートフォンなどを持っていますか？



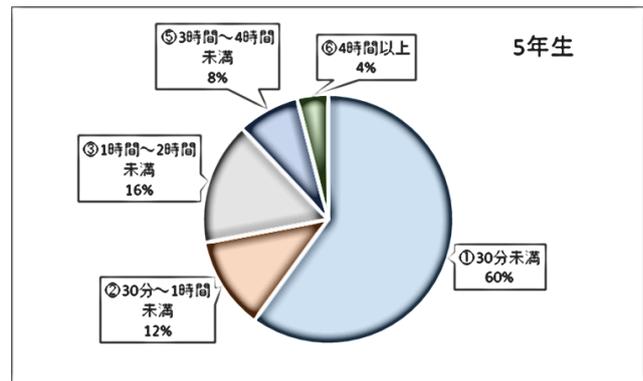
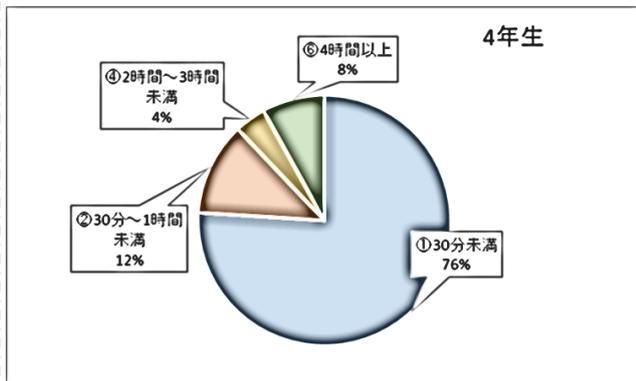
4年生の方が、5年生よりも所持率が高いことが分かります。また、6年生にもなると、過半数を超える児童が、携帯電話かスマートフォンを持っていることが分かります。

ネットで悪口や傷つく書き込みをしたことがある、またはされたことがある

6年生だけが、書き込みによる悪口の経験があると答えました。
 「したことがある・・・3%」
 「されたことがある・・・6%」
 これは、決して少ない数とは言えません。中学校では、ライン等の書き込みで、不登校になったり、成績を大きく下げた生徒もいます。これは見過ごせない数値と言えます。

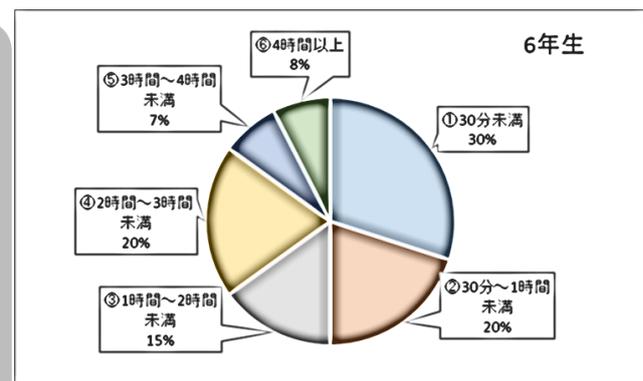


学校のある日はどれくらいの時間利用しますか？

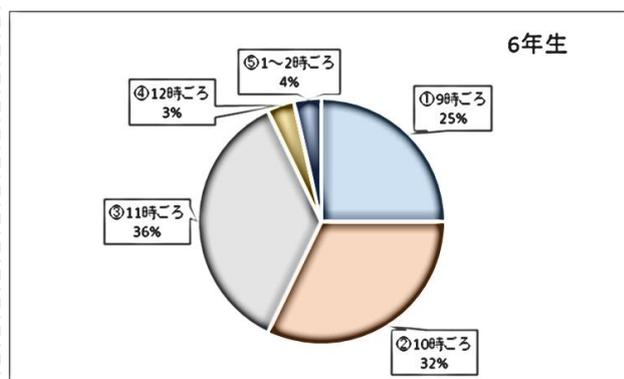
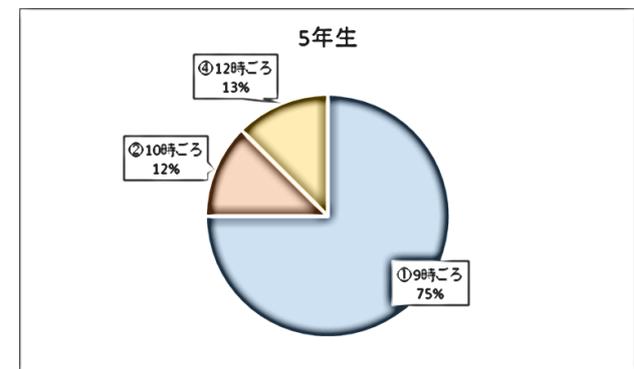
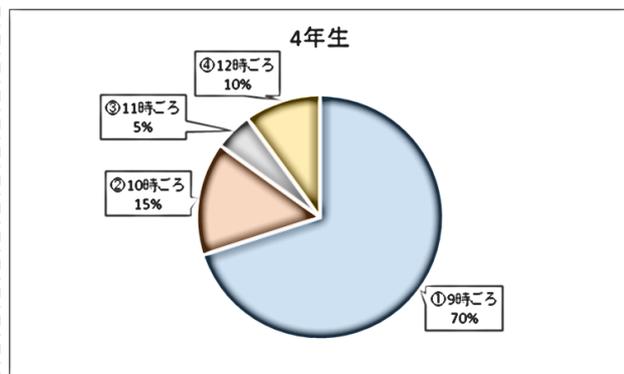


学年にあがるに従い、利用時間が多くなっています。注目すべきは、平日でありながら、4時間以上もしているお子さんがいるということです。

マイクロソフトのビル・ゲイツは、自分の娘には、1時間以上はパソコンにはさわらせなかったそうです。なぜなら、人体によくないことを知っていたからです。



遅いときは、何時まで利用していますか？



これも驚きのデータでした。12時過ぎまでネットやゲームをしているという事実だけでなく、夜中2時までしている6年生もいたということです。睡眠不足になることもあります。翌朝の脳の活性化状況は著しく落ちてしまいます。ゲーム脳の危険性やブルーライトによる目の網膜への影響は大です。フランスでは小中学生のスマホの使用について法規制がなされています。お子様の使用状況を今一度ご確認くださいと幸いです。

アンケート結果をご覧になってどのような感想をお持ちになったでしょうか。学校でも計画的に、また機会をとらえて指導をしていますが、学校だけでは限界があります。ノーゲーム・ノーインターネット DAYの今日を機会にご家庭で話し合ってみてください。